

1歳になったら1回。

就学前にもう1回。



100万回のハグよりも、 2回のはしかワクチンを。

感染症発生動向速報

(平成29年第17週分・4月24日～4月30日)

《インフォメーション》

●麻しん(はしか)

2017年第1～16週までに全国で報告された麻しんの症例数は148例(4月26日現在)となりました。患者は20歳代～40歳代で全体の65%以上を占めています。富山県では、2012, 2016年に1例ずつ報告がありました。

石川県内では4月10日にインドから帰国した麻しん患者が発生しました。4月22～24日には1例目の患者に関連すると思われる麻しん患者が3例発生しました。この麻しんの発生に伴い、県内でも厚生部健康課から注意喚起が行われました。

麻しんは極めて感染力が強く、空気感染、飛沫感染および接触感染により感染します。感染すると、発熱や咳・鼻水などの風邪のような症状や、目の充血、関節痛など様々な症状が出ます。口腔内にコプリック斑という特徴的な白い斑点が現れる場合があります。一旦熱が下がった後、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が出現し、4～5日高熱が続きます。潜伏期は10～12日程度で、合併症がない限り、7～10日程度で回復します。**風邪症状が出現する1日前から解熱後3日程の期間は、他人にうつす可能性があります。**

最も有効な予防法は予防接種です。予防接種歴について今一度ご確認ください。今まで麻しんにかかったことが確実である場合は、予防接種を受ける必要はありません。平成2年4月2日以降生まれの方は、麻しんの予防接種を2回受ける機会があり、感染の可能性は低いと考えられますが、2回接種が済んでいるかご確認ください。平成2年4月1日以前生まれの方は、幼児期に1回予防接種を受けてから相当の年月が経過していますので、十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします。

麻しんを疑う症状があり、医療機関を受診する場合は、あらかじめ電話で麻しんの可能性があることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。

◎定期接種の対象者(1歳児、小学校入学前1年間の小児)はMR(麻しん風しん)ワクチンを忘れずに!

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 2件 (①第16週診断分:70歳代、男性 ②80歳代、女性)

五類感染症 急性脳炎 1件 (第16週診断分:10歳未満、女性)

侵襲性肺炎球菌感染症 2件 (①10歳未満、女性 ②50歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

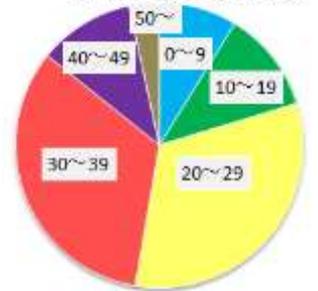
順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	5.97	6.93	↓
2位	流行性角結膜炎	2.14	1.71	↑
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.03	3.00	↓
4位	インフルエンザ	1.98	3.15	↓
5位	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1.20	1.20	→
6位	流行性耳下腺炎	1.14	1.41	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

平成29年5月8日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

麻しん報告状況(年齢別・全国)
2017年1～16週 4月26日現在



○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第17週 平成29年4月24日～平成29年4月30日）

分類	疾患	今週報告分（第17週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					1	1	8	4	13	8	26	59
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	1	1	3
四類感染症	A型肝炎							2				1	3
	デング熱											1	1
	レジオネラ症									5		3	8
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎							1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4		4
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）											1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		3	5
	後天性免疫不全症候群									1		1	2
	ジアルジア症							2					2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1			1		2	3		1	1	9	14
	梅毒										1		2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	22 3.14	17 3.40	21 1.62	13 1.86	22 1.38	95 1.98	1,866	1,345	2,399	1,529	3,357	10,496
	RSウイルス感染症	1 0.25			5 1.25	8 0.80	14 0.48	19	21	19	18	249	326
	咽頭結膜熱	1 0.25	1 0.33	7 0.88	2 0.50	1 0.10	12 0.41	10	10	95	43	61	219
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.75	1 0.33	34 4.25	2 0.50	19 1.90	59 2.03	65	19	377	142	272	875
	感染性胃腸炎	36 9.00	18 6.00	56 7.00	15 3.75	48 4.80	173 5.97	675	402	502	355	1,168	3,102
	水痘	1 0.25	1 0.33	7 0.88		3 0.30	12 0.41	3	21	51	18	56	149
	手足口病		1 0.33		1 0.25	13 1.30	15 0.52		12	53	6	62	133
	伝染性紅斑			1 0.13			1 0.03			1	1	7	9
	突発性発しん	1 0.25		4 0.50	3 0.75	2 0.20	10 0.34	18	10	62	27	44	161
	百日咳									2			2
	ヘルパンギーナ	1 0.25		1 0.13			2 0.07	5	3	6	4		18
	流行性耳下腺炎	4 1.00	4 1.33	12 1.50	2 0.50	11 1.10	33 1.14	79	42	288	63	235	707
	急性出血性結膜炎				1 1.00		1 0.14			2	2		4
	流行性角結膜炎			15 7.50			15 2.14		1	162	1		164
	細菌性髄膜炎							1					1
	無菌性髄膜炎							1					1
	マイコプラズマ肺炎					1 1.00	1 0.20	9	2	8	7	10	36
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2 2.00		2 2.00	2 2.00		6 1.20	10		8	15	4	37
	インフルエンザによる入院患者（*）				1	1	2	53	3	37	100	96	289

インフルエンザ定点における患者診断状況

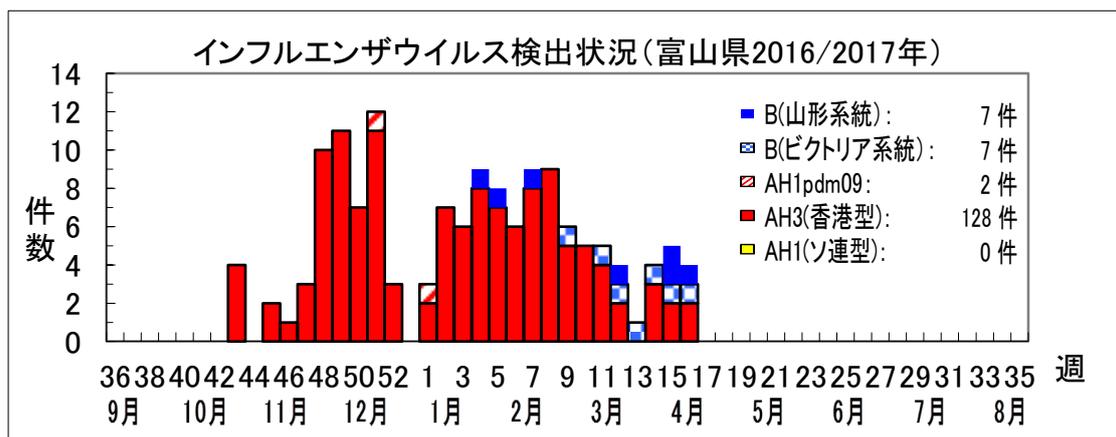
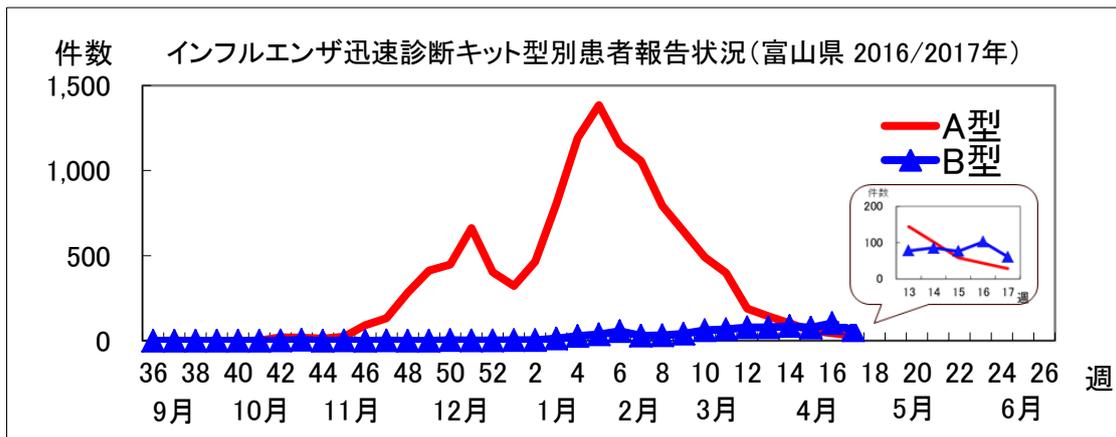
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、B型が64.2%となっています。

第17週(4/24~4/30)：富山県 1.98人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ※2	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	16	5	1	22
中部	4 / 5	0	13	4	17
高岡	7 / 13	1	20	0	21
砺波	4 / 7	6	7	0	13
富山市	12 / 16	6	16	0	22
富山県	33 / 48 ※1	29	61	5	95
富山県累計(2016年36週~)		11,793	868	450	13,111

※1 報告定点数の例(33/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が33か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



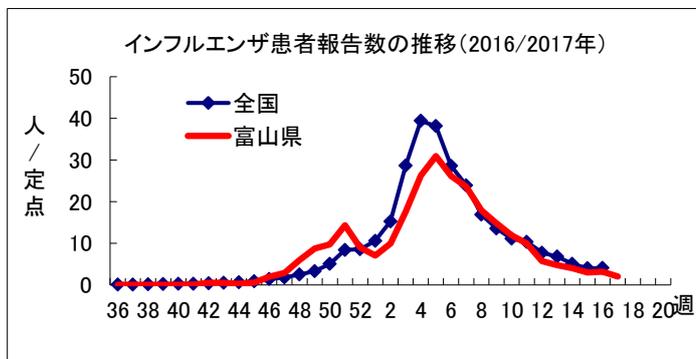


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第17週 (4/24~4/30) : 富山県 1.98人/定点

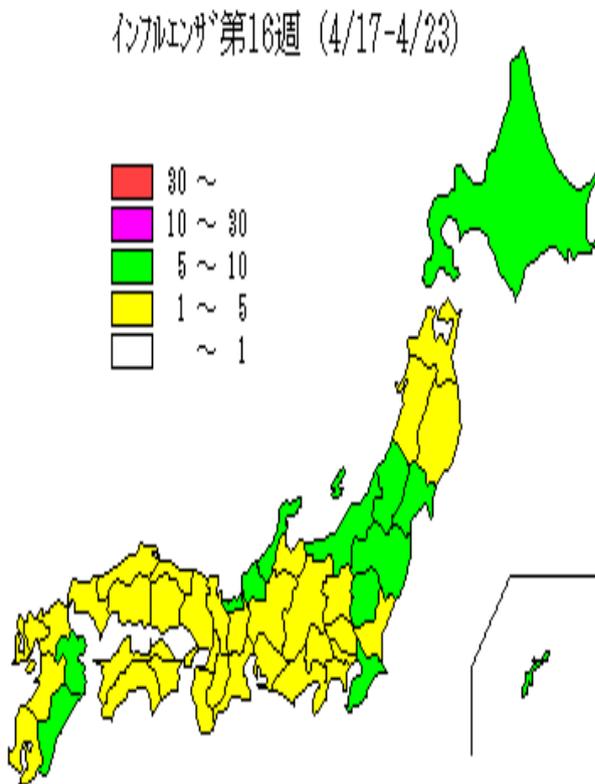
新川 HC (3.14)、中部 HC (3.40)、高岡 HC (1.62)、砺波 HC (1.86)、富山市 HC (1.38)

インフルエンザの流行は全国・県内とも終息に向かっていると思われま



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第16週 (4/17~4/23)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 4.06 人となり、前週の定点あたり 3.98 人より増加しました。21 都道府県で前週より報告数の増加がみられ、26 府県で前週より報告数が減少しました。



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	7.35	滋賀県	2.38
青森県	3.80	京都府	2.60
岩手県	4.81	大阪府	1.70
宮城県	5.47	兵庫県	2.18
秋田県	4.44	奈良県	1.13
山形県	6.85	和歌山県	2.06
福島県	8.42	鳥取県	3.34
茨城県	3.27	島根県	2.21
栃木県	5.24	岡山県	1.65
群馬県	4.39	広島県	1.60
埼玉県	4.84	山口県	2.57
千葉県	5.39	徳島県	1.84
東京都	4.53	香川県	1.62
神奈川県	4.28	愛媛県	2.82
新潟県	9.96	高知県	1.58
富山県	3.15	福岡県	4.36
石川県	6.27	佐賀県	2.45
福井県	6.88	長崎県	4.74
山梨県	2.39	熊本県	4.86
長野県	4.68	大分県	5.22
岐阜県	1.31	宮崎県	6.41
静岡県	3.47	鹿児島県	3.17
愛知県	2.98	沖縄県	9.55
三重県	1.79	全国	4.06

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年3月分）

		3月報告分					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			2		6	8			7		12	19	
				0.67		1.50	0.80							
	性器ヘルペスウイルス感染症		2	2			4		3	4		3	10	
			2.00	0.67			0.40							
尖圭コンジローマ				1	1	2	4			4	1	3	8	
				0.33	1.00	0.50	0.40							
淋菌感染症				1		2	3			1		2	3	
				0.33		0.50	0.30							
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	2		1	4	8	4	8	2	5	6	25
			1.00	2.00		1.00	4.00	1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1	1			2		1	4	3		8
			1.00	1.00			0.40							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。